

"Performance" Through Chemistry

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

三洋化成工業株式会社
代表取締役社長 樋口 章憲

コード：4471



<注意事項>

この資料に記載している金額は表示単位未満を切り捨てで、その他、比率等は表示単位未満を四捨五入しております。

<免責事項>

この資料には、2023年11月17日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測等が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動・原料価格の動向等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

<IRに関するお問い合わせ>

三洋化成工業株式会社
経営企画本部 広報部
E-mail : pr-group@sanyo-chemical.group

創 立：1949（昭和24）年11月1日

本 社：京都市東山区

資 本 金：13,051百万円

国内支社・営業所：東京、名古屋、広島、福岡

国内工場：名古屋、衣浦、鹿島、京都、川崎（サンケミカル）

従業員数：2,090名（連結）[2023年9月30日現在]

事業内容：約3,000種のパフォーマンス・ケミカルス（機能化学品）の製造・販売



三洋化成グループ

● 連結子会社 ○ 持分法適用会社

国内

- SDPグローバル (株)
- サンノポコ (株)

- サンアプロ (株)
- サンケミカル (株)

- (株) サン・ペトロケミカル

海外



- 三洋化成精細化学品 (南通) 有限公司
- 三洋化成 (上海) 貿易有限公司
- 三大雅精細化学品 (南通) 有限公司



- 韓国三洋化成 (株)



- Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



- Sanyo Chemical America Incorporated
- Sanyo Chemical Texas Industries, LLC
- Sunrise Chemical LLC



- SDP GLOBAL (MALAYSIA) SDN.BHD.

物流・サービス

- 三洋化成ロジスティクス (株)
- 塩浜ケミカル倉庫 (株)

その他の子会社・関連会社：

台湾三洋化成股份有限公司

韓国三洋化成製造 (株)

San Nopco (Korea) Limited

San Nopco (Shanghai) Trading Co., Ltd.

DaXiang International Trading (Shanghai) Co., Ltd.

国内生産拠点



京都工場・本社・研究所
(東山区、約2.6万m²)



鹿島工場
(茨城県神栖市、約13.0万m²)



名古屋工場
(愛知県東海市、約10.0万m²)



衣浦工場
(愛知県半田市、約14.0万m²)



サンケミカル 川崎工場
(神奈川県川崎市、約1.1万m²)



海外生産拠点

 三洋化成精細化学品（南通）有限公司

 三大雅精細化学品（南通）有限公司



韓国三洋化成製造株式会社



 Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



SDP GLOBAL(MALAYSIA)SDN.BHD.



Sanyo Chemical Texas Industries, LLC

海外営業拠点

 三洋化成(上海)貿易有限公司
San Nopco (Shanghai) Trading Co., Ltd.
DaXiang International Trading (Shanghai) Co., Ltd.



 韓国三洋化成株式会社
San Nopco (Korea) Limited

 Sanyo Chemical America Inc.



 台湾三洋化成股份有限公司

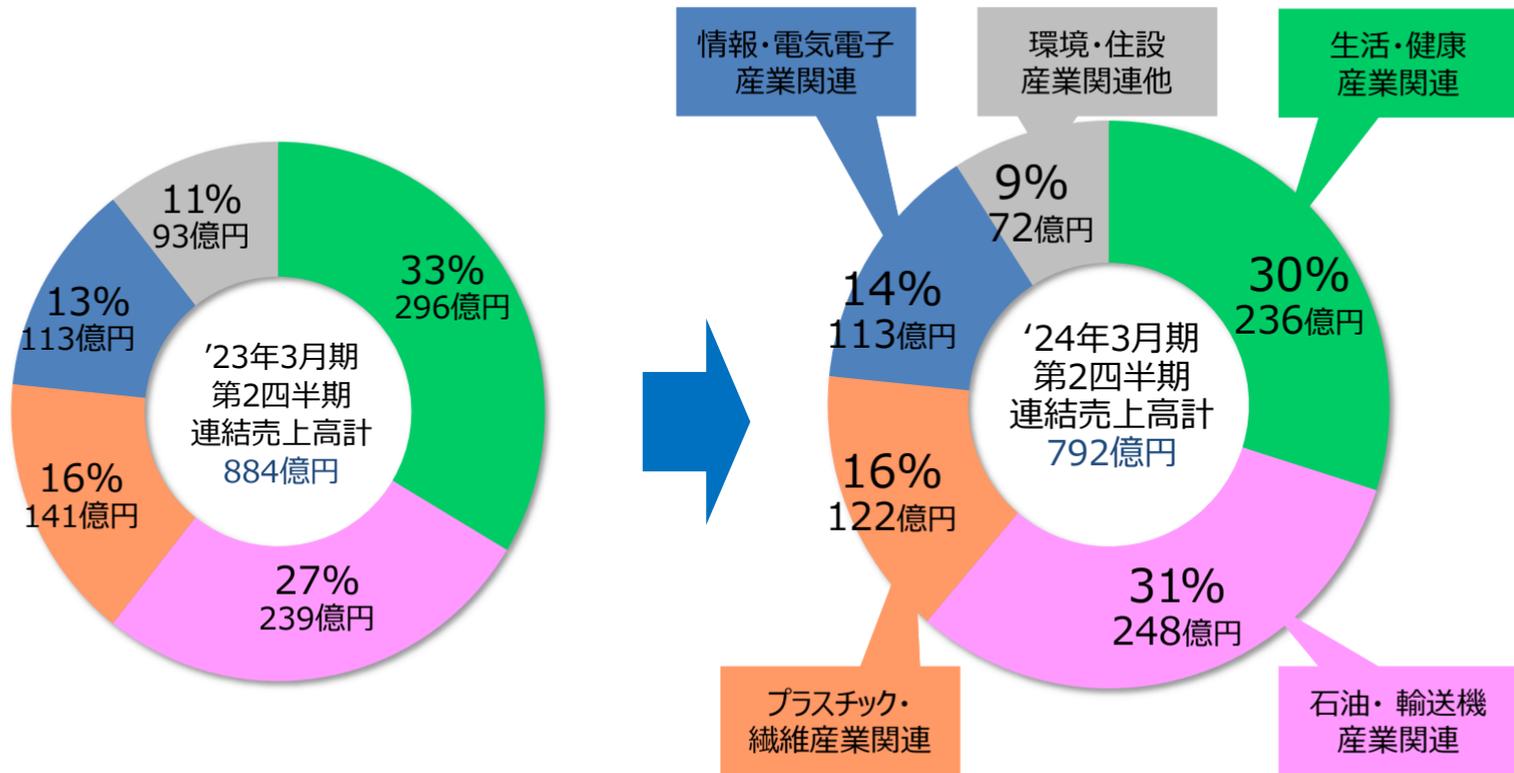
 Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



産業分野別主要製品

大分類	中分類	主要製品
生活・健康 産業関連	生活産業関連	洗剤・洗浄剤用界面活性剤、ヘアケア製品用界面活性剤、製紙用薬剤
	健康産業関連	高吸水性樹脂（SAP）、医薬品原料、殺菌消毒剤、外科用止血材、EIA（酵素免疫測定法）用臨床検査薬、人工腎臓用ポッティング材
石油・輸送機産業関連		自動車内装表皮材用ウレタンビーズ（TUB）、ポリウレタンフォーム用原料（PPG）、潤滑油添加剤、燃料油添加剤、水溶性切削油、非ハロゲン系洗浄剤、合成潤滑油ベース、デザインモデル製作用盛り付け樹脂、自動車塗料用樹脂
プラスチック ・繊維 産業関連	プラスチック 産業関連	永久帯電防止剤、顔料分散剤、樹脂改質剤、塗料用樹脂、消泡剤、ポリウレタンエラストマー原料、モデル製作用合成木材
	繊維産業関連	繊維製造用薬剤、炭素繊維用薬剤、ガラス繊維用薬剤、人工皮革・合成皮革用ウレタン樹脂
情報 ・電気電子 産業関連	情報産業関連	重合トナー中間体ポリエステルビーズ（PEB）、トナーバインダー
	電気電子 産業関連	アルミ電解コンデンサ用電解液、電子材料用粘着剤、電子部品製造工程用薬剤、UV・EB硬化樹脂
環境・住設産業関連他		廃水処理用高分子凝集剤、カチオンモノマー、家具・断熱材用PPG、泥水用薬剤、反応性ホットメルト接着剤、建築シーラント用原料、セメント用薬剤

連結産業分野別売上高構成



2024年3月期第2四半期業績



(億円, %)

連結	'23年3月期 第2四半期	'24年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	884.3	792.7	▲91.6	▲10.4
営業利益	38.0	20.2	▲17.8	▲46.9
経常利益	73.6	49.4	▲24.2	▲32.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	47.1	43.9	▲3.2	▲6.8
包括利益	63.2	66.1	2.8	4.6

* 基幹システムの変更を契機に各事業の業績評価方法を見直したことにより、従来、「営業外費用」に含まれていた「棚卸資産廃棄損」は当年度第1四半期連結会計期間から「売上原価」に含めて表示しております。
 なお、当スライド以降の営業利益については、組み換え後の数値を表示しております。

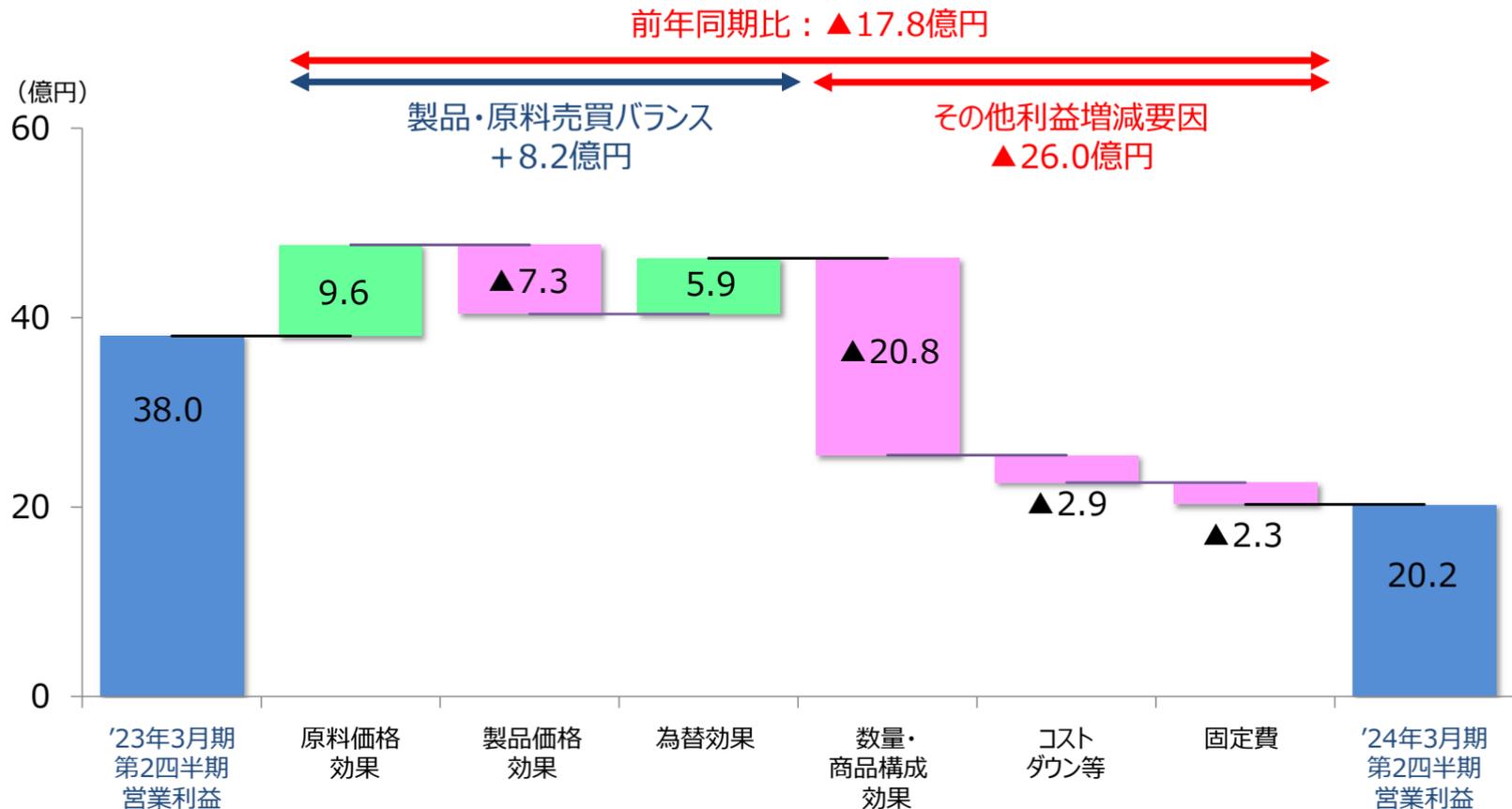
業績予想の修正（11/6）について

製造原価ならびに販売費及び一般管理費が想定を下回ったこと、円安による為替差益の発生により、第2四半期の予想を修正いたしました。なお、為替の影響や世界経済の先行きの見通しが不透明なため、通期の売上高および営業利益は前回公表値を据え置きます。

(億円)

連結	前回修正予想		今回修正予想		増減額	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	790	1,600	793	1,600	3	0
営業利益	12	50	20	50	8	0
経常利益	35	60	49	65	14	5
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	40	44	50	14	10
1株当たり 当期純利益	135円91銭	181円21銭	199円29銭	226円43銭		

連結営業利益の前年同期比増減要因



連結純利益の前年同期比増減要因

(億円)

	'23年3月期 第2四半期	'24年3月期 第2四半期	増減額
営業利益	38.0	20.2	▲17.8
持分法投資損益	4.8	▲1.1	▲6.0
為替差損益	26.2	23.2	▲2.9
その他営業外損益	4.4	7.1	2.6
経常利益	73.6	49.4	▲24.2
投資有価証券売却益	—	20.3	20.3
固定資産除却損	▲5.9	▲4.2	1.6
その他の特別損益	▲0.9	—	0.9
税金等調整前四半期純利益	66.8	65.5	▲1.3
法人税等	▲16.8	▲19.1	▲2.3
非支配株主に帰属する四半期純利益	▲2.8	▲2.3	0.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	47.1	43.9	▲3.2

連結貸借対照表

(億円)

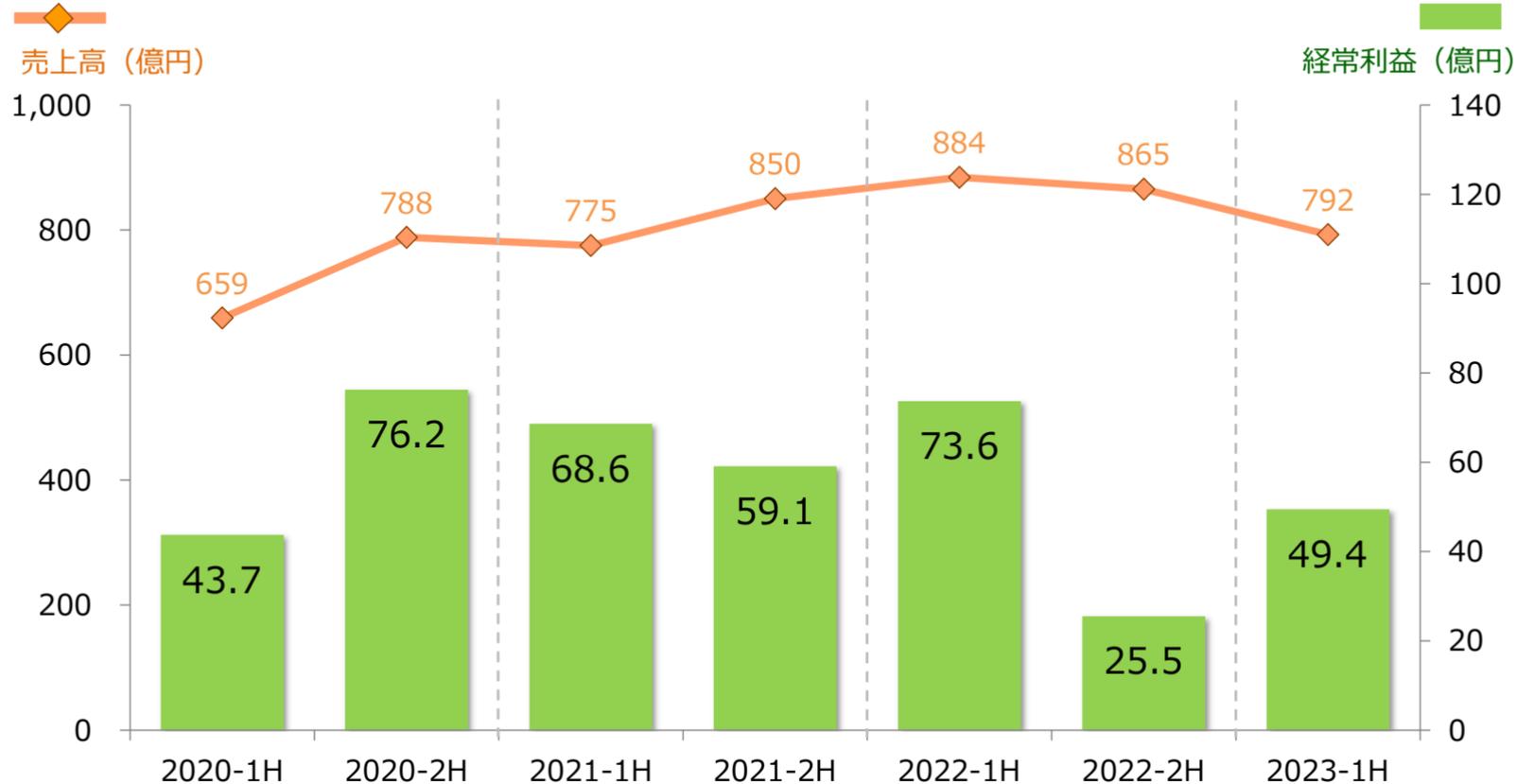
	2023年 3月31日	2023年 9月30日	増減額	主な増減要因
流動資産	973	1,029	56	現金及び預金(47)、受取手形及び売掛金・電子記録債権(19)、商品及び製品(▲20)
固定資産	1,048	1,061	13	
資産合計	2,021	2,091	69	
流動負債	469	490	21	買掛金・電子記録債務(42)、未払金(▲18)
固定負債	62	64	1	
負債合計	531	555	23	
株主資本	1,323	1,349	25	四半期純利益(43)、配当金支払(▲18)
その他 包括利益	137	156	19	為替換算調整勘定(9)
非支配株主持分	29	30	0	
純資産合計	1,489	1,536	46	
負債・純資産合計	2,021	2,091	69	

連結キャッシュフロー計算書

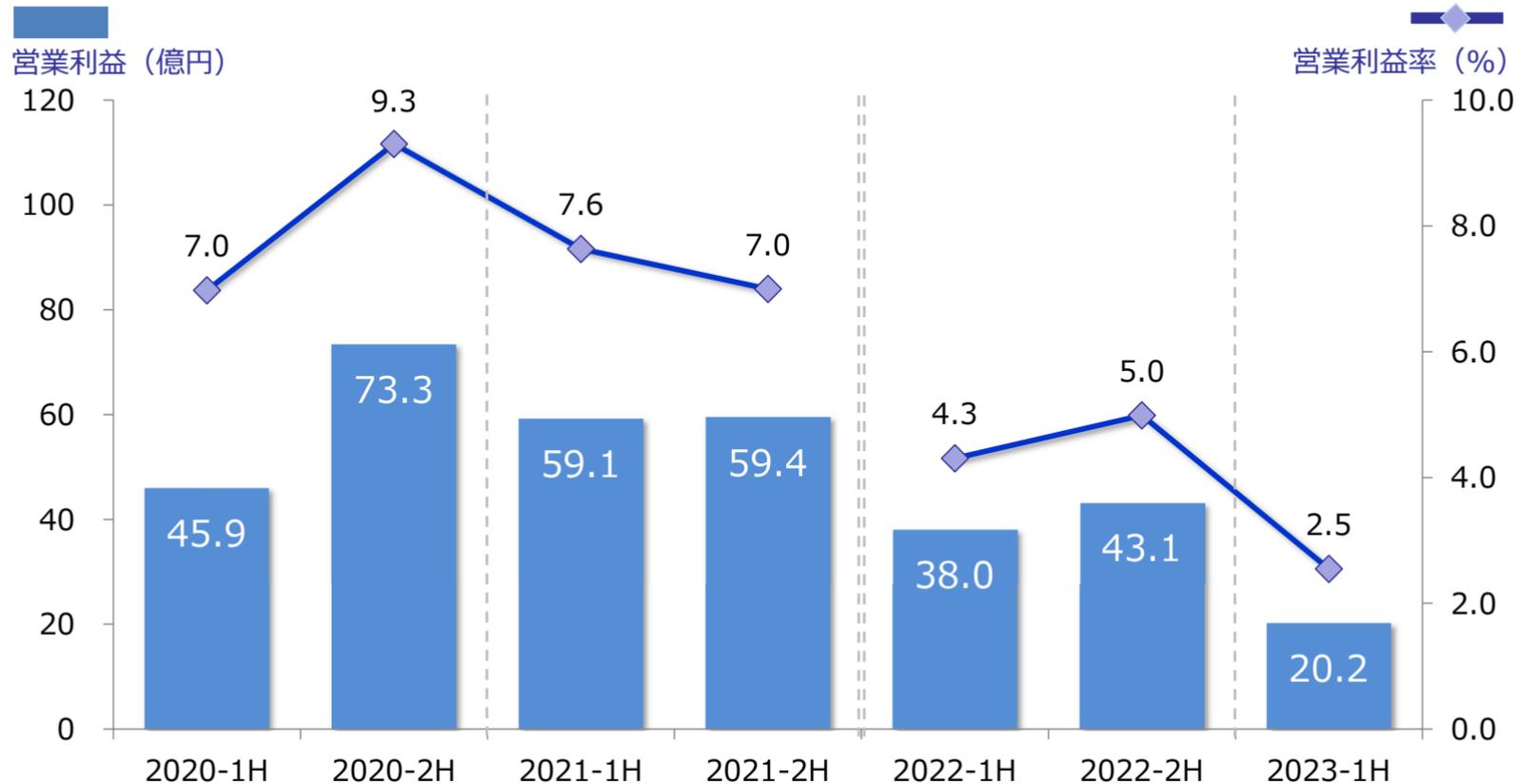
(億円)

	'23年3月期 第2四半期	'24年3月期 第2四半期	増減額	特記事項
営業活動CF	66.6	100.5	33.8	
税金等調整前純利益	66.8	65.5	▲1.3	
減価償却費	50.2	54.0	3.7	
持分法投資損益	▲4.8	1.1	6.0	
投資有価証券売却益	—	▲20.3	▲20.3	
運転資金の増減	▲8.3	45.3	53.7	
法人税等	▲23.4	▲12.9	10.4	
その他	▲13.7	▲32.2	▲18.4	
投資活動CF	▲64.5	▲32.2	32.3	固定資産の取得 '22/1H : ▲48.6 '23/1H : ▲36.3
フリーCF	2.0	68.3	66.2	
財務活動CF	▲21.5	▲26.9	▲5.4	借入・返済 '22/1H : ▲0.9 '23/1H : ▲5.4
現金及び現金同等物に 係る換算差額	5.2	5.6	0.3	
現金及び現金同等物の 増減額	▲14.2	46.9	61.1	
現金及び現金同等物の 期首残高	181.7	170.4	▲11.2	
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額	3.3	—	▲3.3	
現金及び現金同等物の期末残高	170.8	217.3	46.5	

連結業績の推移（半期）



連結営業利益（同率）の推移（半期）



* 一部勘定科目の取り扱いの変更を受け、2021-2H以前は組み換え前、2022-1H以降は組み換え後の数値を表示しております。

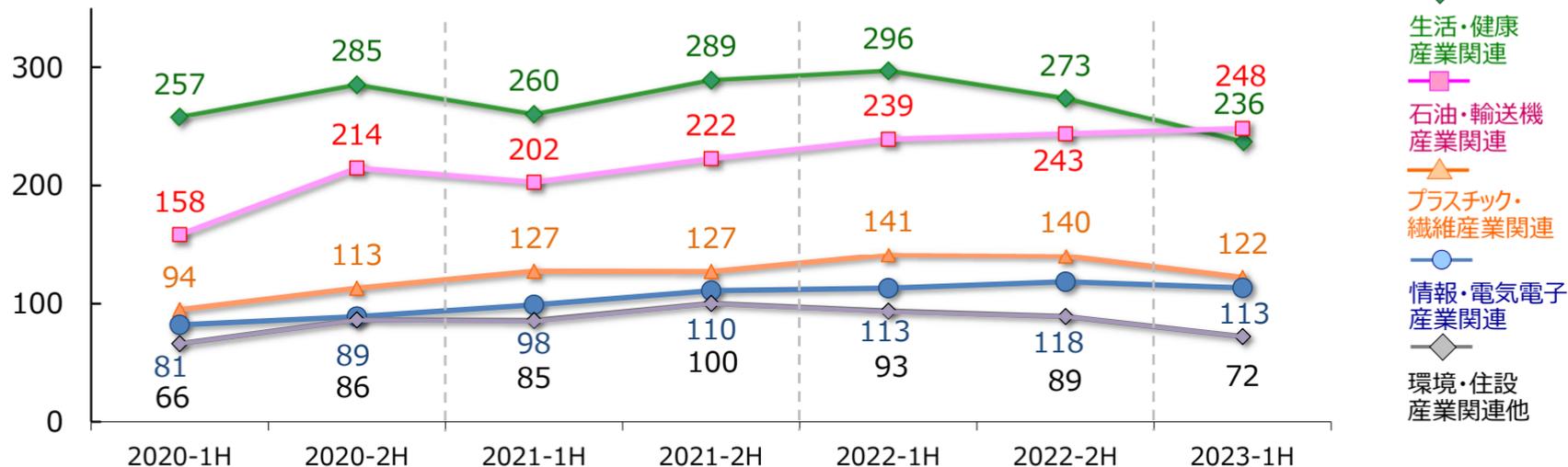
連結産業分野別業績

(億円)

産業分野	売上高			営業利益		
	'23年3月期 第2四半期	'24年3月期 第2四半期	増減額	'23年3月期 第2四半期	'24年3月期 第2四半期	増減額
生活・健康産業関連	296.9	236.8	▲60.1	4.1	▲9.7	▲13.8
生活産業関連	73.4	63.7	▲9.6			
健康産業関連	223.5	173.0	▲50.4			
石油・輸送機産業関連	239.1	248.1	9.0	13.0	10.7	▲2.2
プラスチック・繊維産業関連	141.4	122.2	▲19.2	13.8	11.3	▲2.4
プラスチック産業関連	99.6	84.9	▲14.6			
繊維産業関連	41.8	37.2	▲4.5			
情報・電気電子産業関連	113.0	113.3	0.3	8.5	11.0	2.4
情報産業関連	64.1	70.5	6.4			
電気電子産業関連	48.9	42.8	▲6.1			
環境・住設産業関連他	93.7	72.1	▲21.6	6.2	3.3	▲2.8
新規事業に係る研究開発費				▲7.7	▲6.6	1.1
合計	884.3	792.7	▲91.6	38.0	20.2	▲17.8

連結産業分野別売上高の推移（半期）

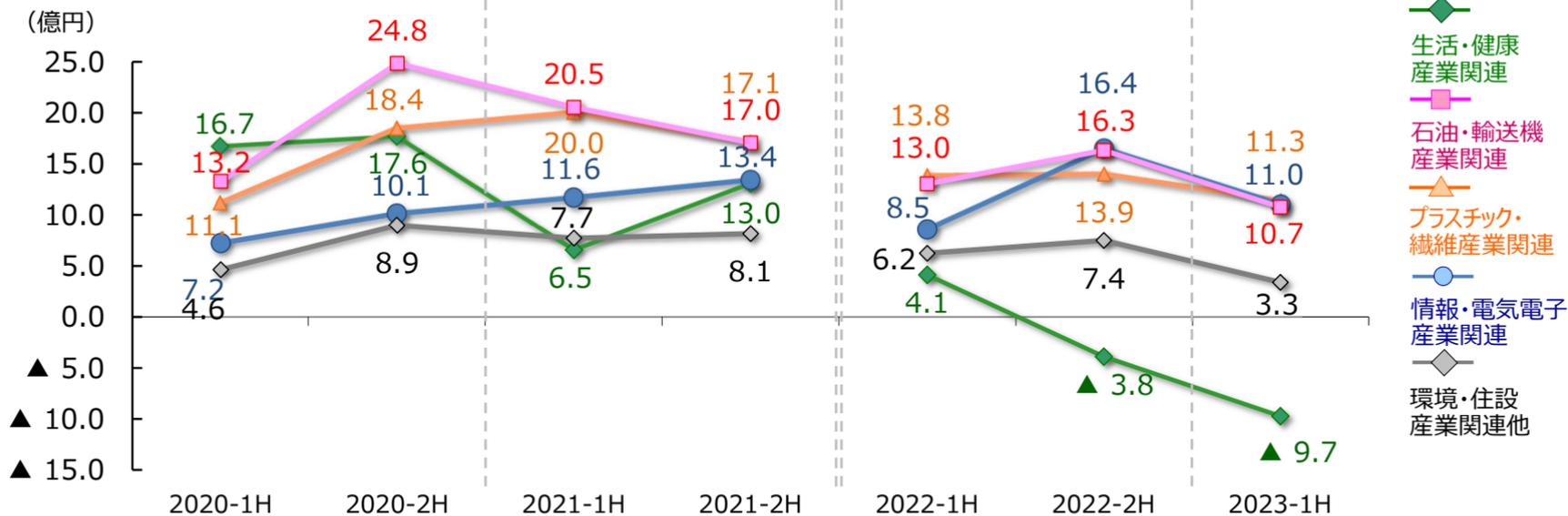
(億円)



当期（上期）業績の主な増減要因（前年同期比）

- 生活・健康 : 液体洗濯洗剤用界面活性剤及びPEGは国内外ともに市況が低迷し、需要が減少したため売上高は減少。SAPは日本及びアジアで販売数量が減少し、売上高は減少。
- 石油・輸送機 : TUBが中国市況不振により低調だったものの、潤滑油添加剤が横ばいに推移、PPGが大幅に増加したため、売上高は順調に推移。
- プラスチック・繊維 : 永久帯電防止剤は電子部品需要低迷のため低調。塗料コーティング用薬剤・添加剤も中国向け需要が減少し売上高は減少。炭素繊維集束剤が国内外ともに低調に推移。タイヤコード糸等の製造時に使用される油剤の需要が減少したため、売上高は低調。
- 情報・電気電子 : トナー関連材料の需要が減少したものの、原料価格高騰等による価格改定により売上高は増加。半導体市場が低調に推移したため、関連材料の売上が減少。アルミ電解コンデンサ用電解液も低調に推移し売上高は減少。
- 環境・住設、他 : 高分子凝集剤用カチオンモノマーの需要が低迷。PPGは巣ごもり需要の一巡により減少。

連結産業分野別営業利益の推移（半期）



*一部勘定科目の取り扱いの変更を受け、2021-2H以前は組み換え前、2022-1H以降は組み換え後の数値を表示しております。

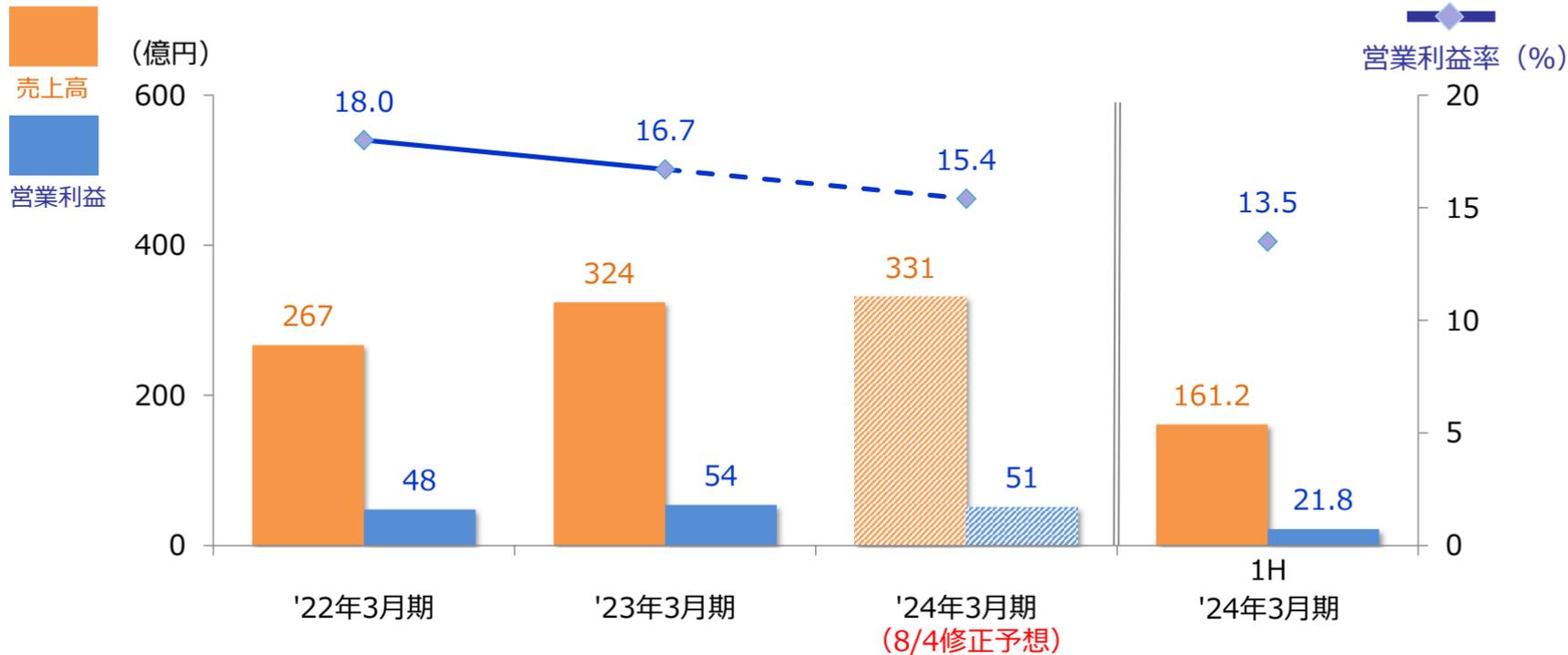
新規事業に係る研究開発費（億円）

'21年3月期		'22年3月期		'23年3月期		'24年3月期
1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H
▲7.0	▲6.7	▲7.3	▲9.3	▲7.7	▲7.2	▲6.6

高付加価値製品群の推移

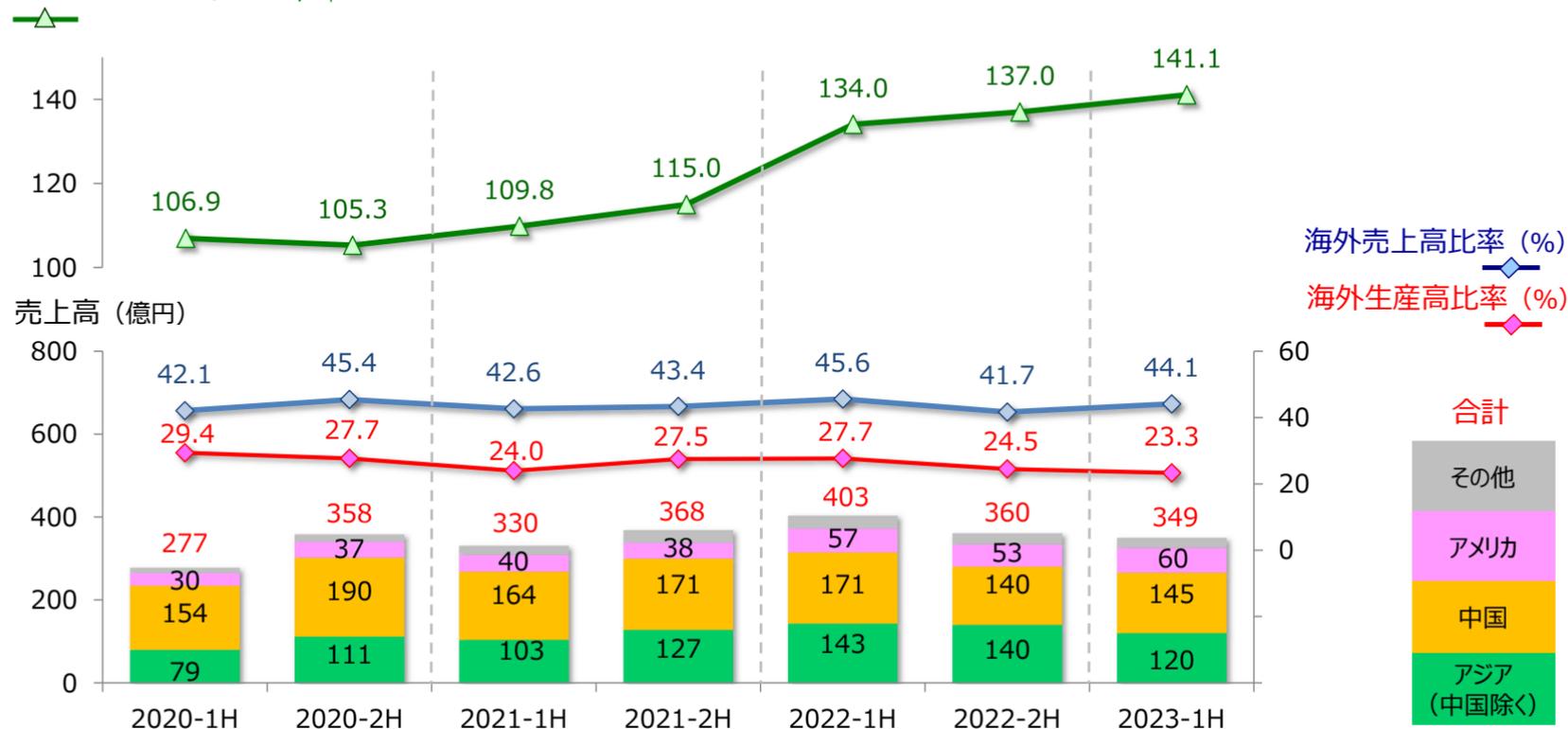
新中期経営計画2025において、カーボンニュートラルおよびQOL（生活の質）の向上に貢献する注力 5 製品群を「高付加価値製品群」として位置づけ、さらなる成長加速を目指しています。

高付加価値製品群：特殊繊維用薬剤、特殊電子部品用薬剤、潤滑油添加剤、永久帯電防止剤、医療・医薬関連

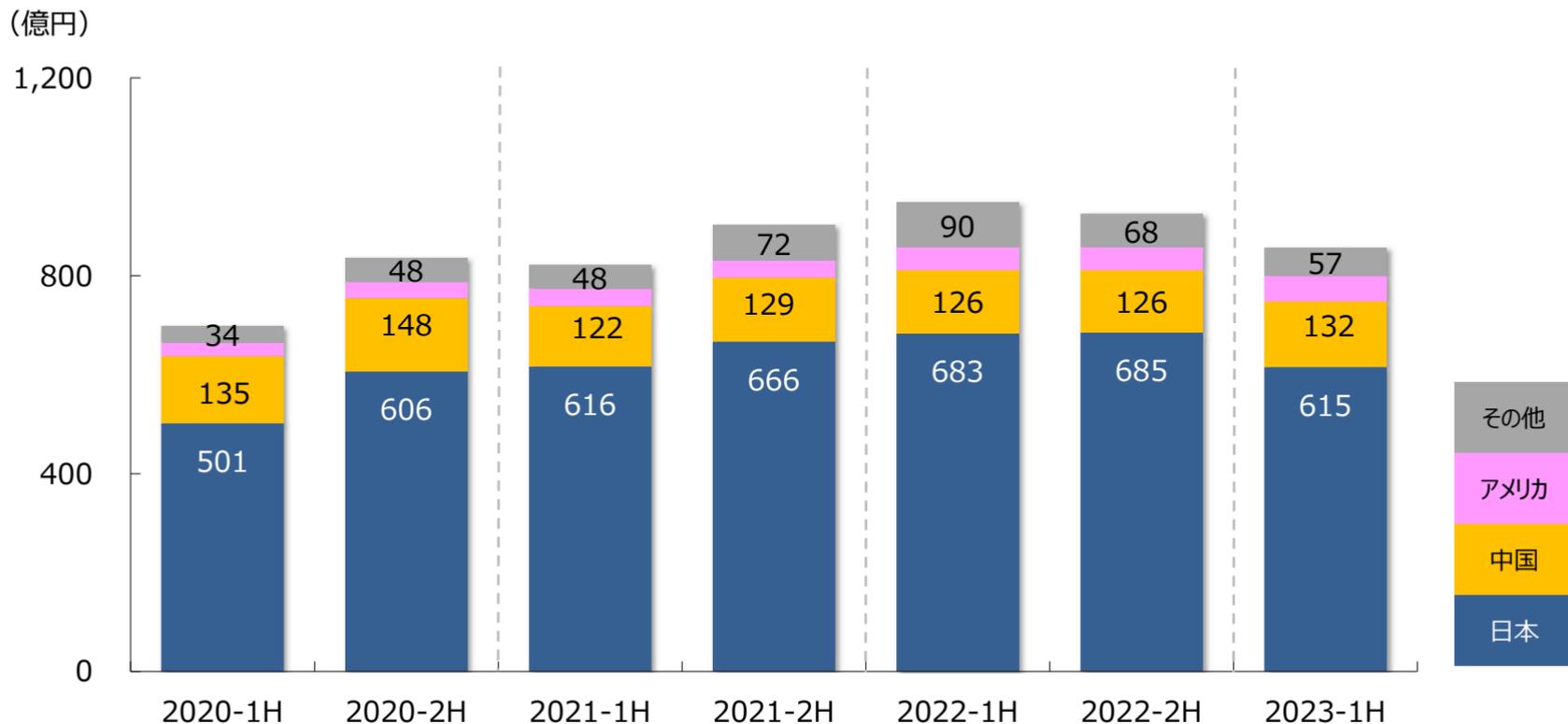


海外売上高の推移（半期）

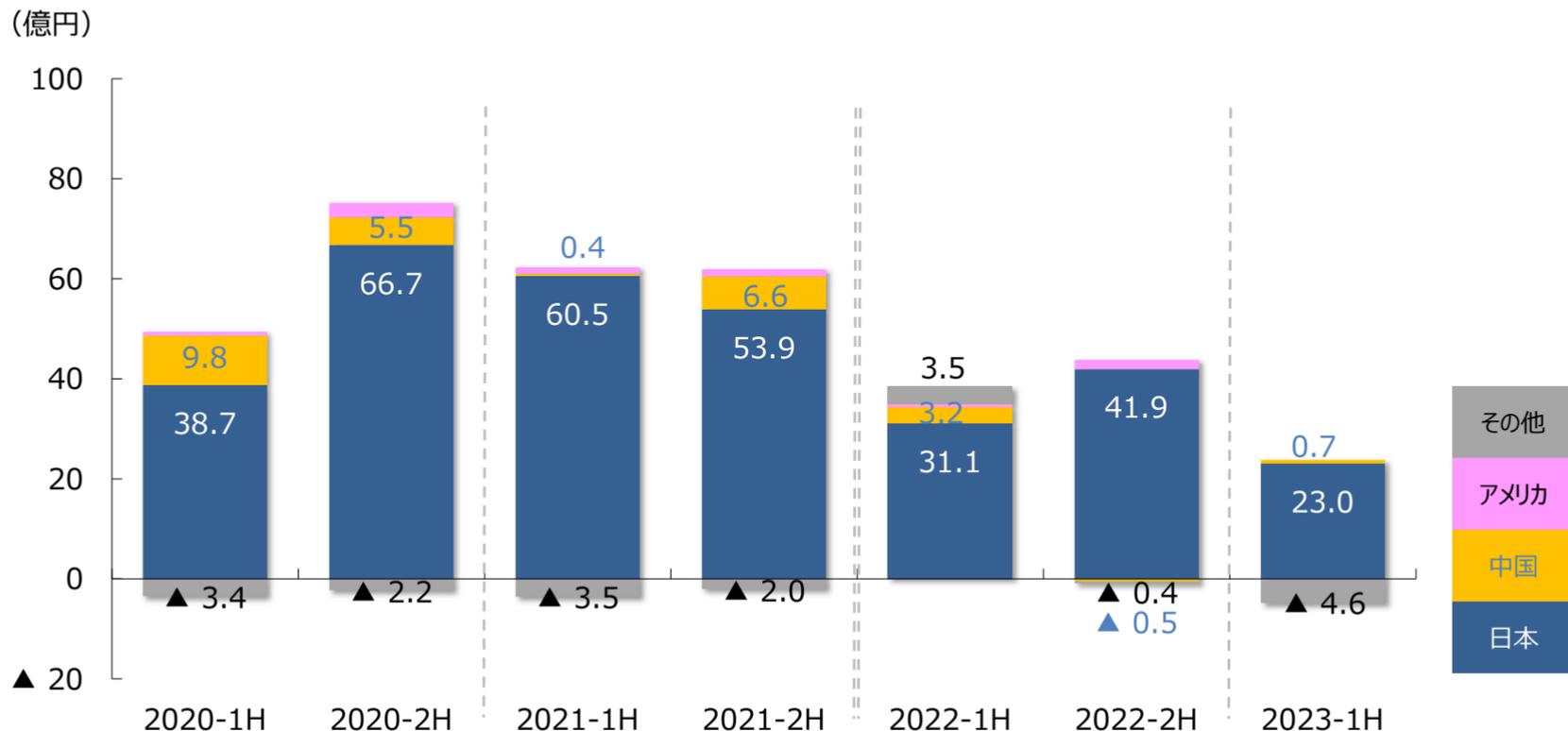
為替（期中平均）（円 / \$）



連結所在地別売上高の推移（単純合算）



連結所在地別営業利益の推移（単純合算）

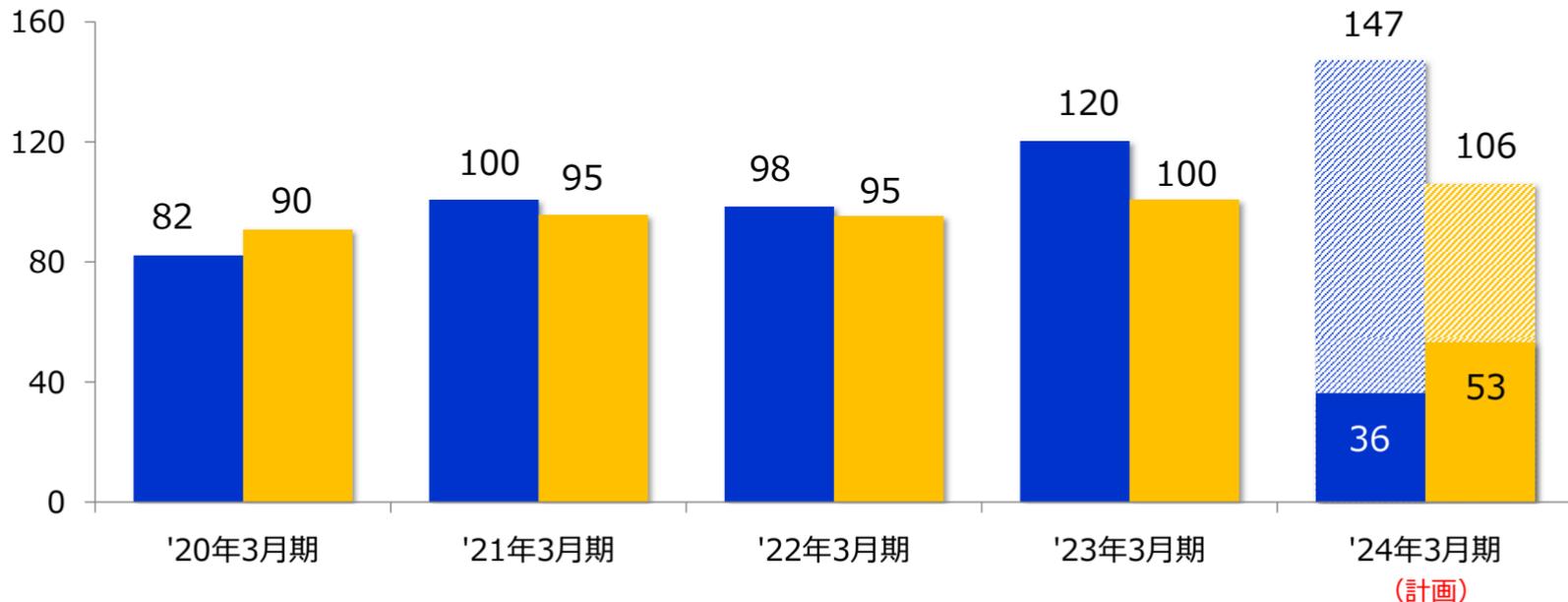


* 一部勘定科目の取り扱いの変更を受け、2021-2H以前は組み換え前、2022-1H以降は組み換え後の数値を表示しております。

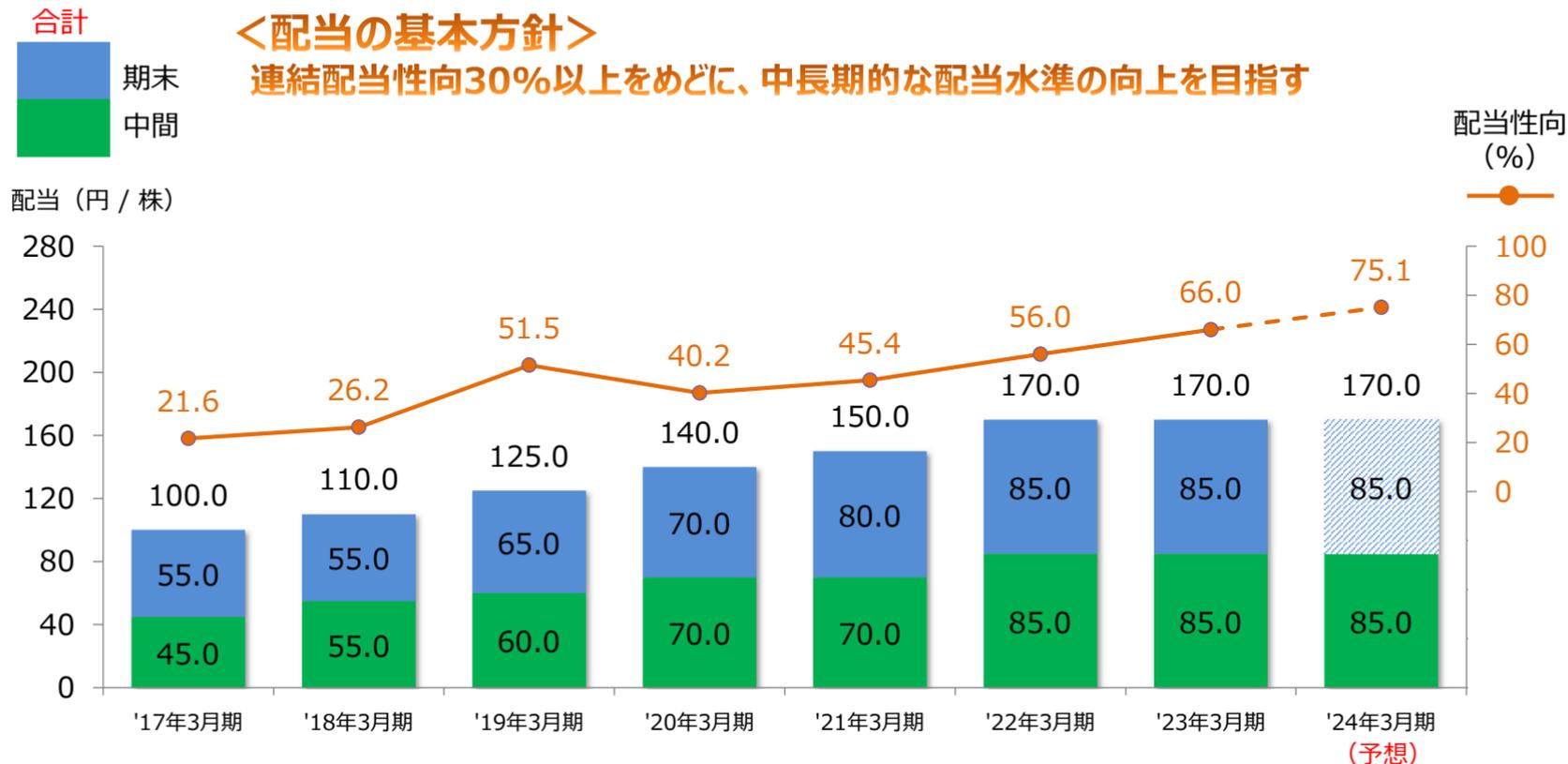
設備投資と減価償却（連結）

■ 設備投資
■ 減価償却費

(億円)



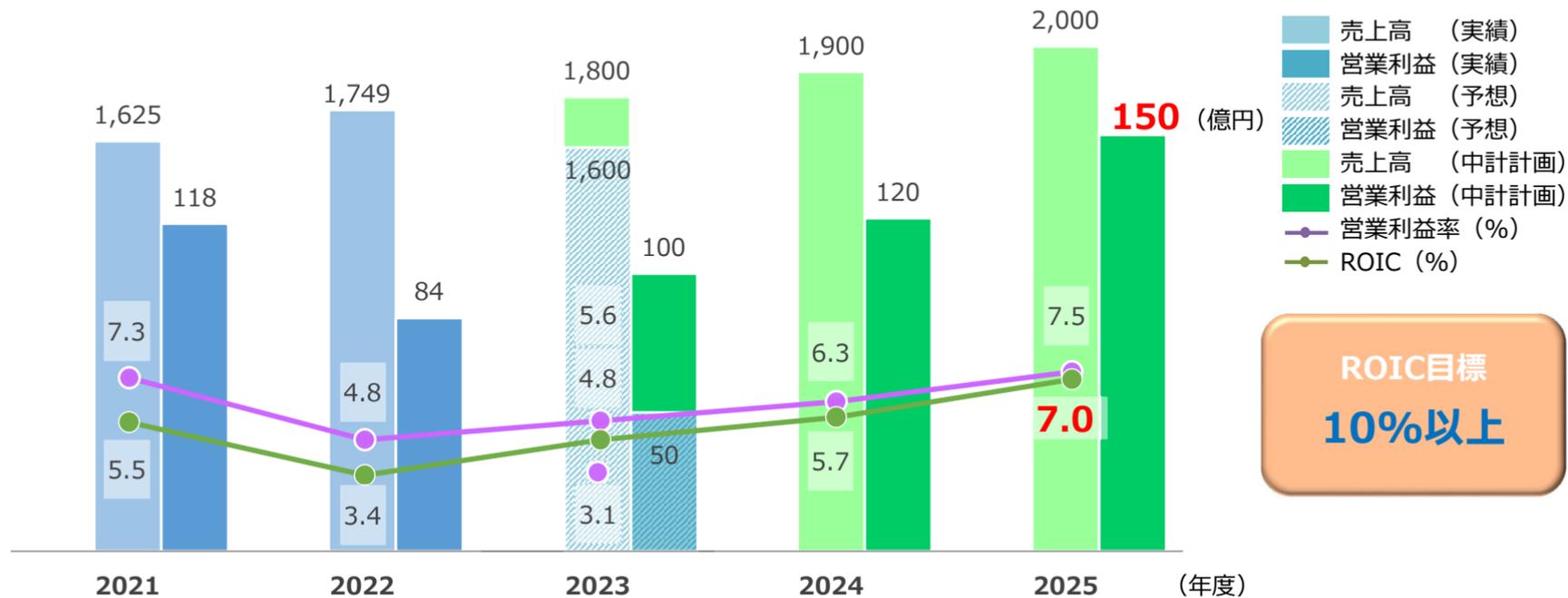
1株当たり配当と連結配当性向の推移





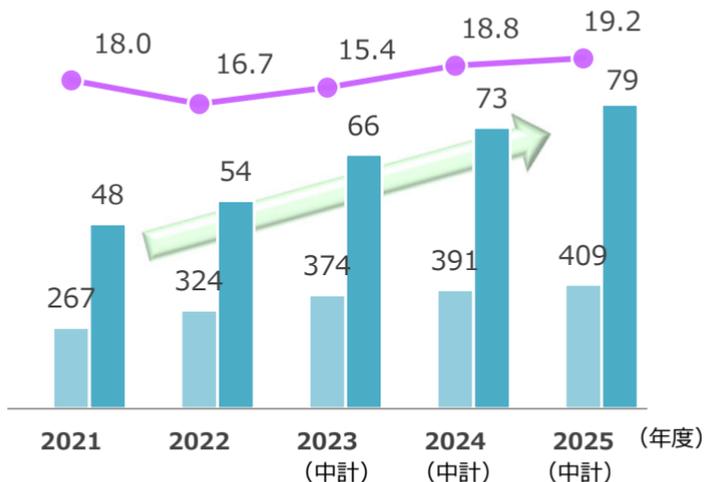
TOPICS

新中期経営計画2025

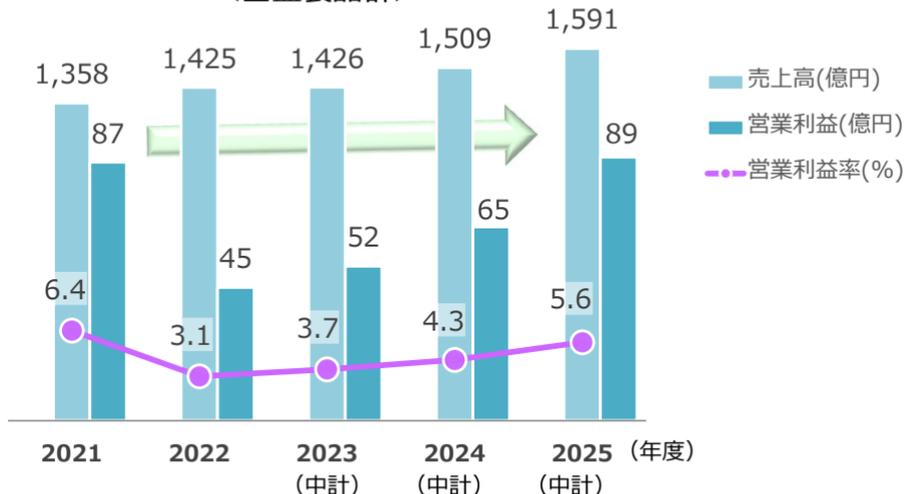


新中期経営計画2025

＜高付加価値製品群＞



＜基盤製品群＞



(注) 新規事業に係る研究開発費(20億円弱/年)は全社費用として計上しており、上記の営業利益には含んでおりません

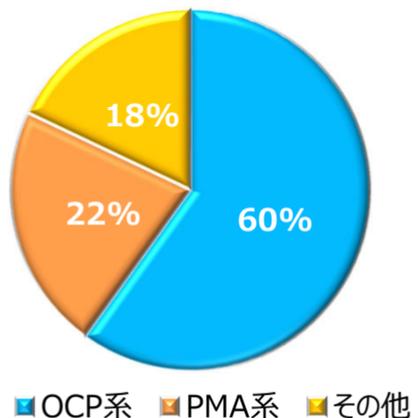
- ・電子部品需要低迷のため低調
- ・半導体市場が低調

- ・ものづくり大改革始動
- ・ウレタン事業とSAP事業の構造改革

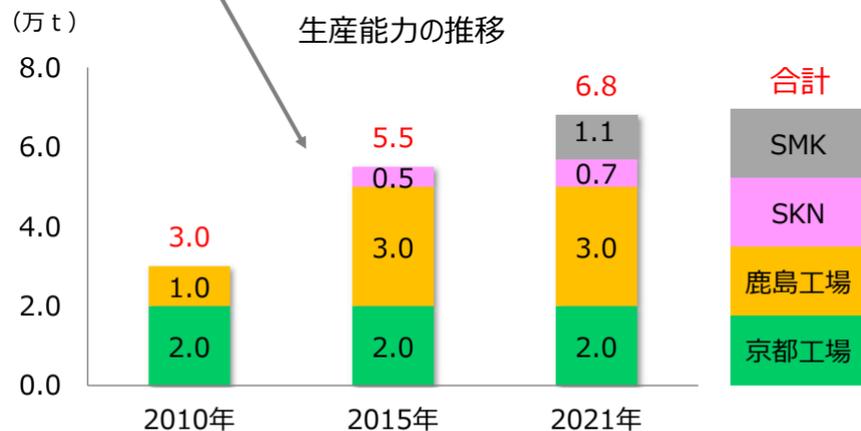
粘度指数向上剤『アクループ』

- ・自動車生産台数の回復
- ・エンジンオイルは新車需要に加え、交換需要もあり
- ・より省燃費性に優れるPMA系への需要拡大

粘度指数向上剤の種類(2015年)



省燃費化ニーズの高まりにより、
エンジンオイル用途にも採用



グローバルでの拡販推進、EV化に対応する新添加剤の開発を目指す

ものづくり革新センター

生産プロセスの抜本的な見直しによる生産効率化・収益力向上

SCM統括本部

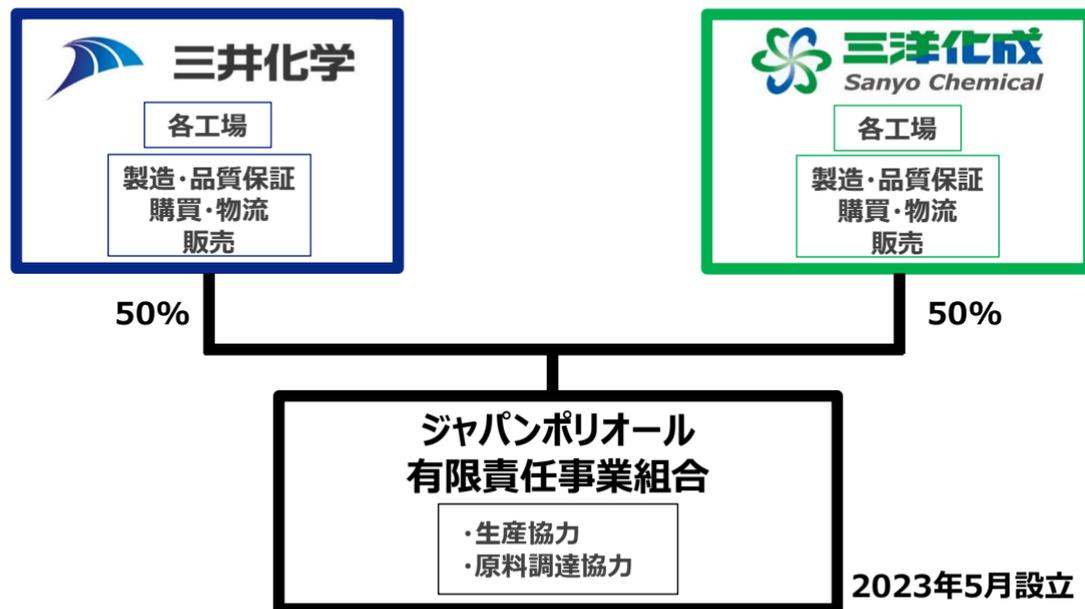
全てのサプライチェーンマネジメント（SCM）機能を集約し、業務プロセスの変革、スピーディーな顧客対応で企業価値向上



営業利益30億円、営業キャッシュフロー50億円の業績改善の実現に向け、プロセス改善・合理化などに関するテーマを選定し検討を開始

基盤事業の見直し（構造改革）

三井化学との有限責任事業組合（LLP）『ジャパンポリオール有限責任事業組合』を設立



生産性向上や供給安定性確保などの課題解決を目的に、
生産協力や原料調達協力および更なる連携の可能性を検討

機能性タンパク質『シルクエラスチン[®]』

創傷治癒用途（京都大学と共同開発）

企業治験が完了し、2023年度に製造販売の承認申請、2024年度に販売目指す



シルクエラスチン貼付前

シルクエラスチン貼付14日後

	シルクエラスチン	従来法①	従来法②
急性創傷	100%	60%	32%
慢性創傷	90%	34%	—

従来治療では治癒が期待できなかった傷に対して、高い治癒効果が得られた

半月板再生用途（広島大学と共同開発）

医師主導治験が完了し、2024年度に企業治験開始、2027年度に販売を目指す



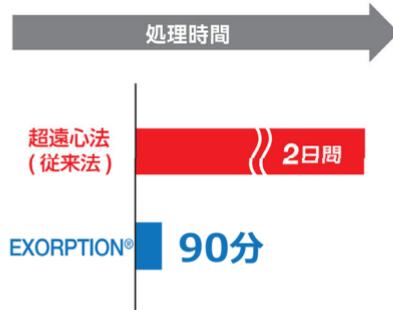
これまでになかった治療方法で、さまざまな再生医療への応用を目指す

エクソソームを含む細胞外小胞（EV）の精製技術『EXORPTION®法』

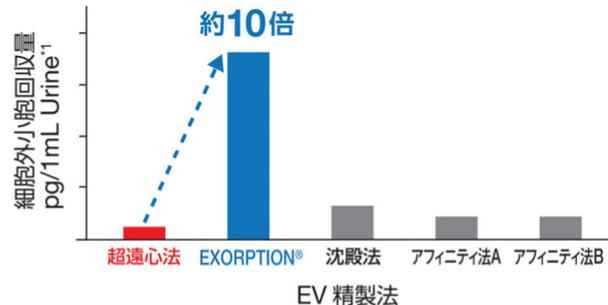
EVを高精製度・高収率に回収する新規なバイオセパレーション方法を開発
医療従事者・研究者を対象とした精製キット(EXORPTION®)の販売を準備中



精製時間の短縮（約30分の1以下）



回収量の向上



QOL向上の実現に向け、事業拡大を図る

匂いセンサー『FlavoTone（フラボトーン）』を販売開始

機器の販売だけでなく、レンタルや受託分析、個別の課題に対するソリューション提案などのサービス提供も開始



匂いセンサー紹介サイト：<https://kaori.sanyo-chemical.co.jp/>

匂いに関する課題を解決し、より良い社会インフラづくりに貢献

サステナビリティに関する考え方や活動内容を伝えるため、デザイン・ページ構成を大幅に見直し、内容を充実化



- > サステナビリティ担当役員メッセージ
- > サステナビリティマネジメント
- > 三洋化成グループの価値創造プロセス
- > ステークホルダー・コミュニケーション



- > マテリアリティ



- > 新中期経営計画2025
- > 新たな成長軌道
- > 基盤事業からの展開
- > 環境対応製品

活動報告



- > 環境マネジメント
- > 気候変動への対応
- > 化学物質管理
- > 資源循環/廃棄物削減
- > 生物多様性
- > 水資源



- > 人権の尊重
- > 安全・防災
- > 品質
- > サステナブル調達
- > 人財
- > 地域社会/社会貢献



- > コーポレート・ガバナンス
- > コンプライアンス
- > リスクマネジメント

ESGパフォーマンスデータ

環境

社会

ガバナンス

レポートライブラリー | 方針類 | 編集方針 | GRI内容索引

サステナビリティページ : <https://www.sanyo-chemical.co.jp/sustainability/>

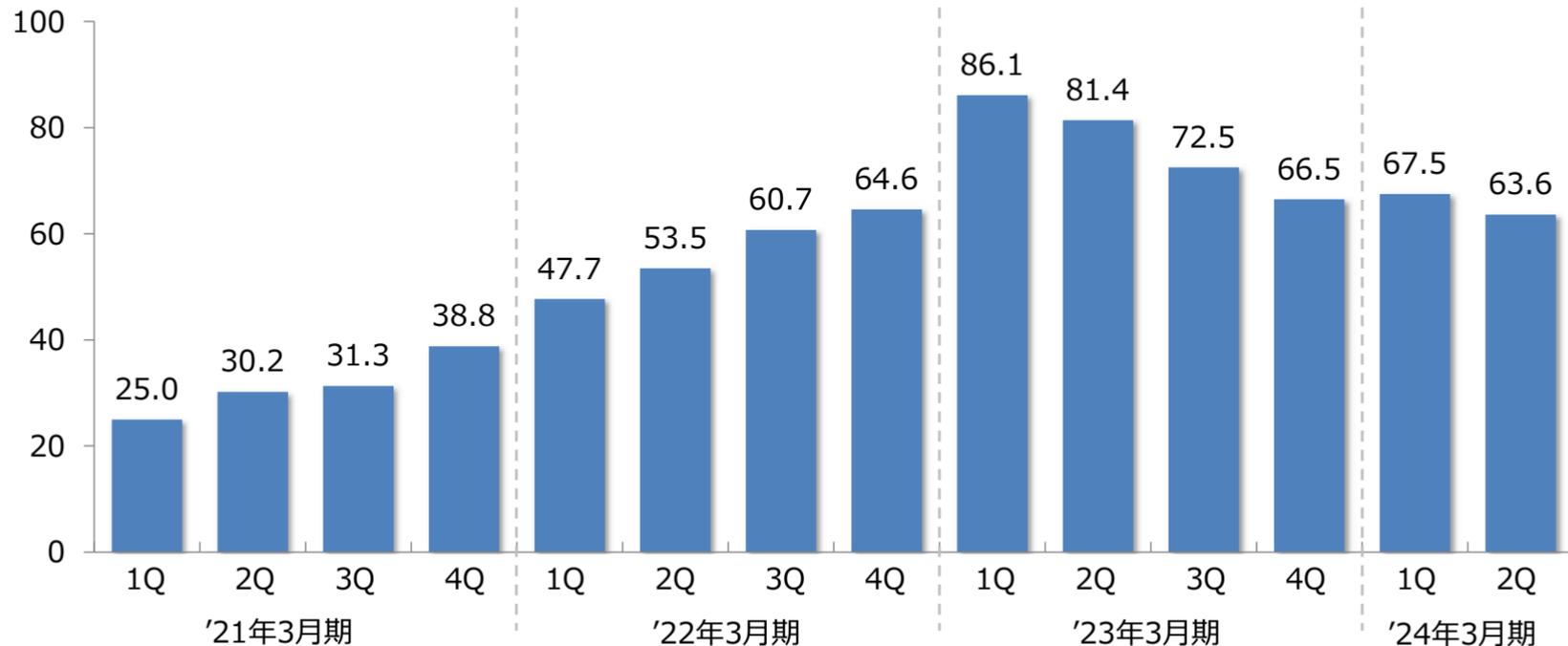
サステナビリティに関する積極的な情報開示を行う



参考資料

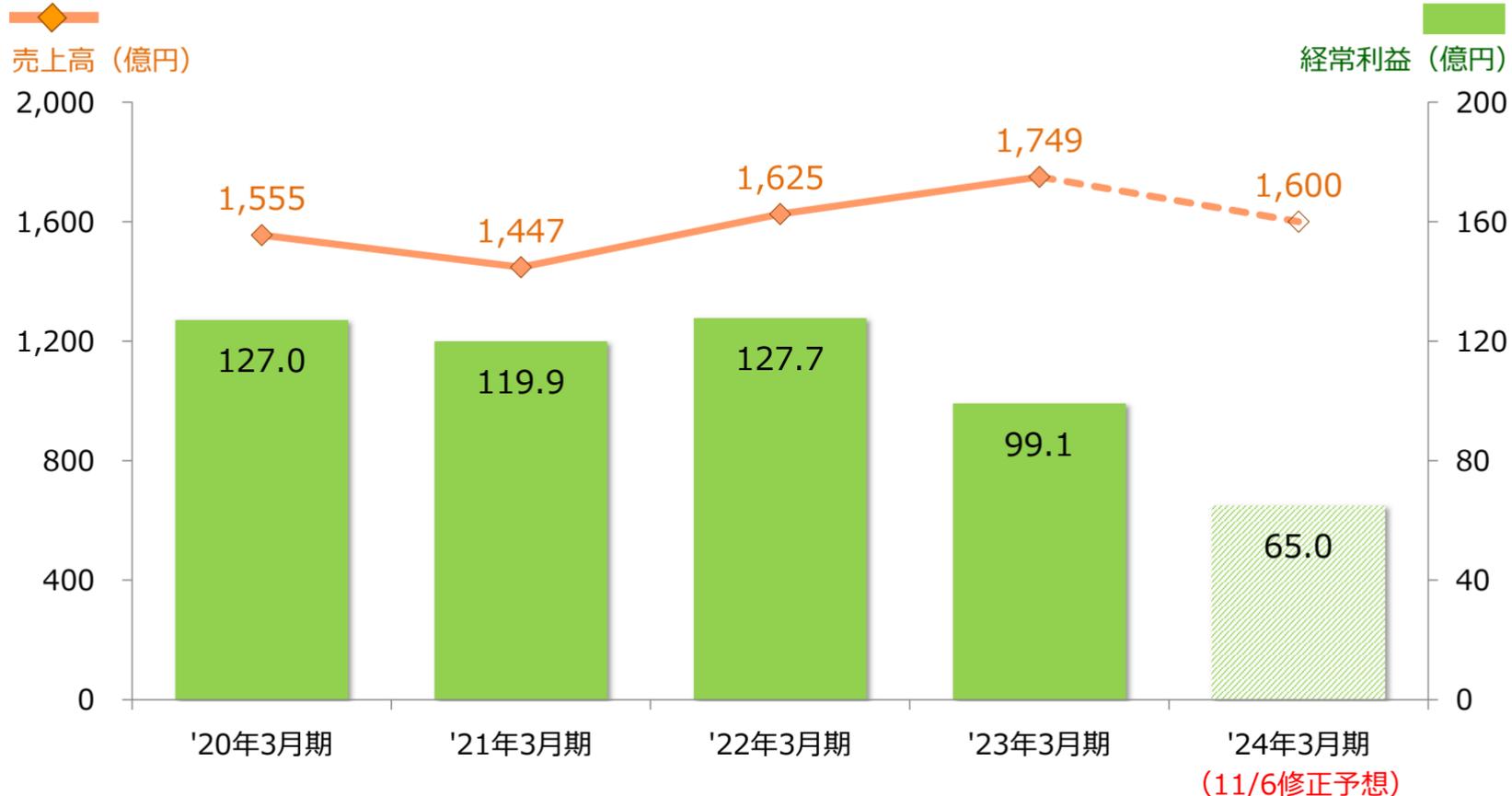
国産ナフサ価格の推移

国産ナフサ価格
(千円/kl)

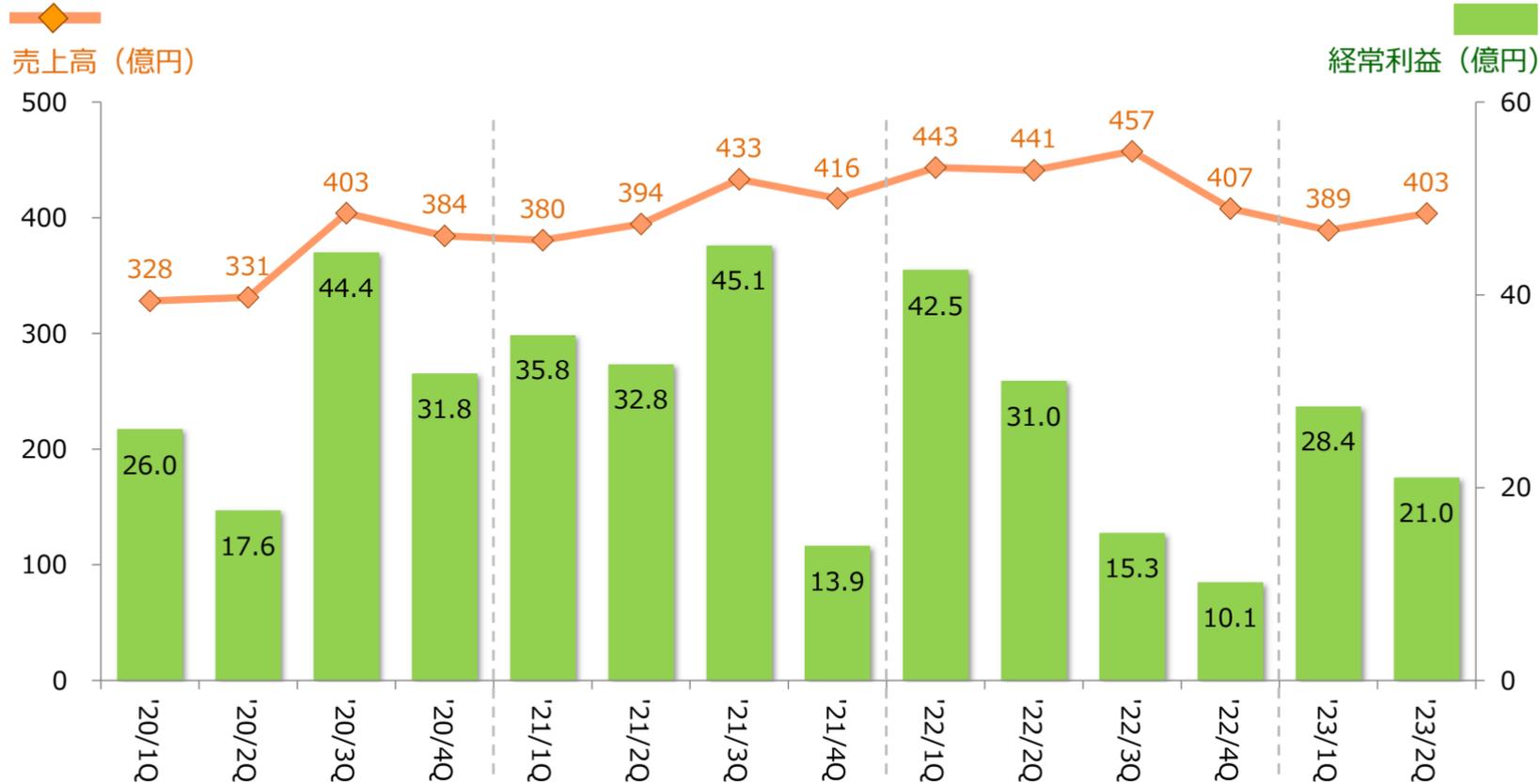


(出典：財務省貿易統計)

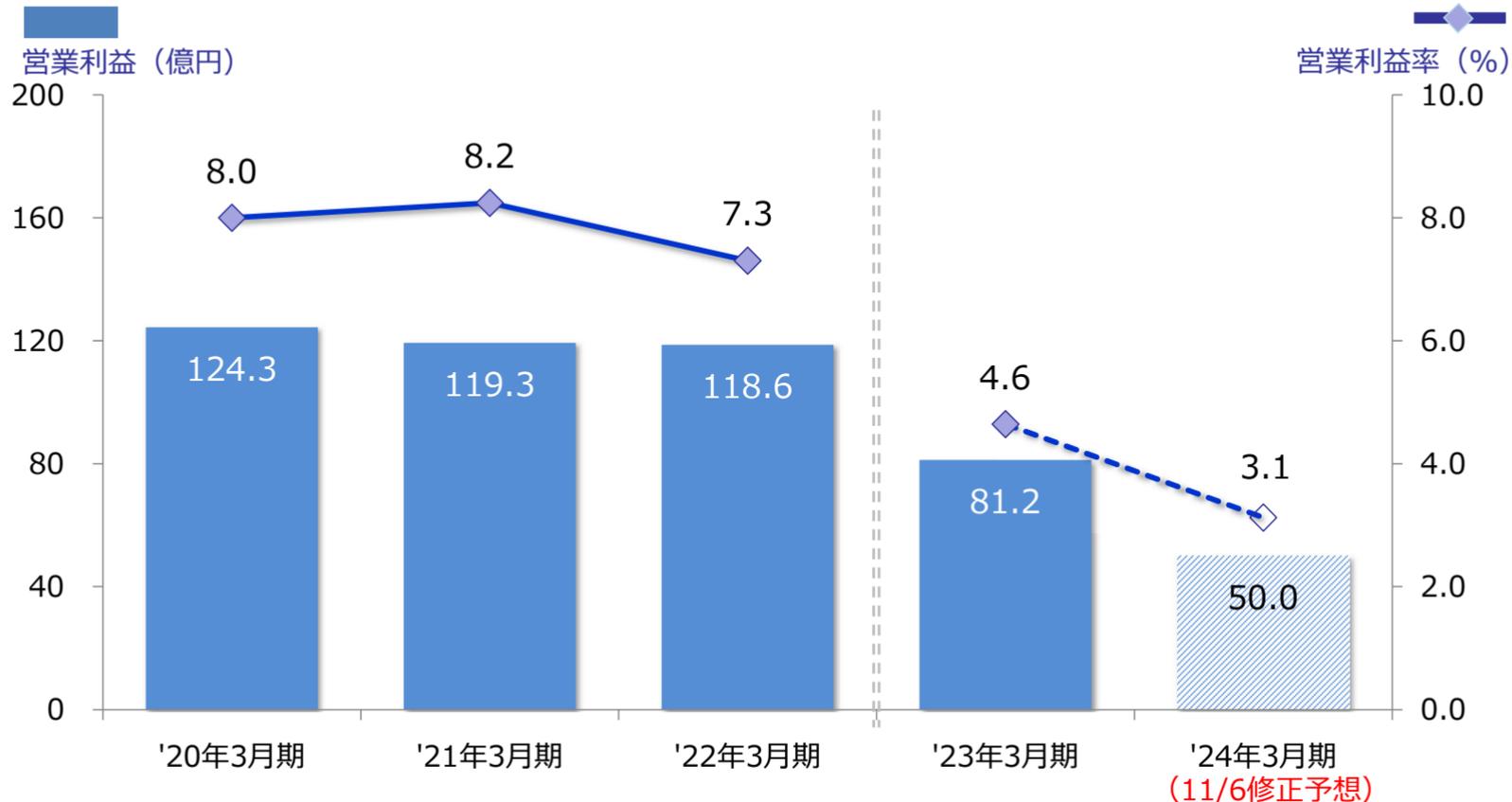
連結業績の推移



連結業績の推移（四半期）

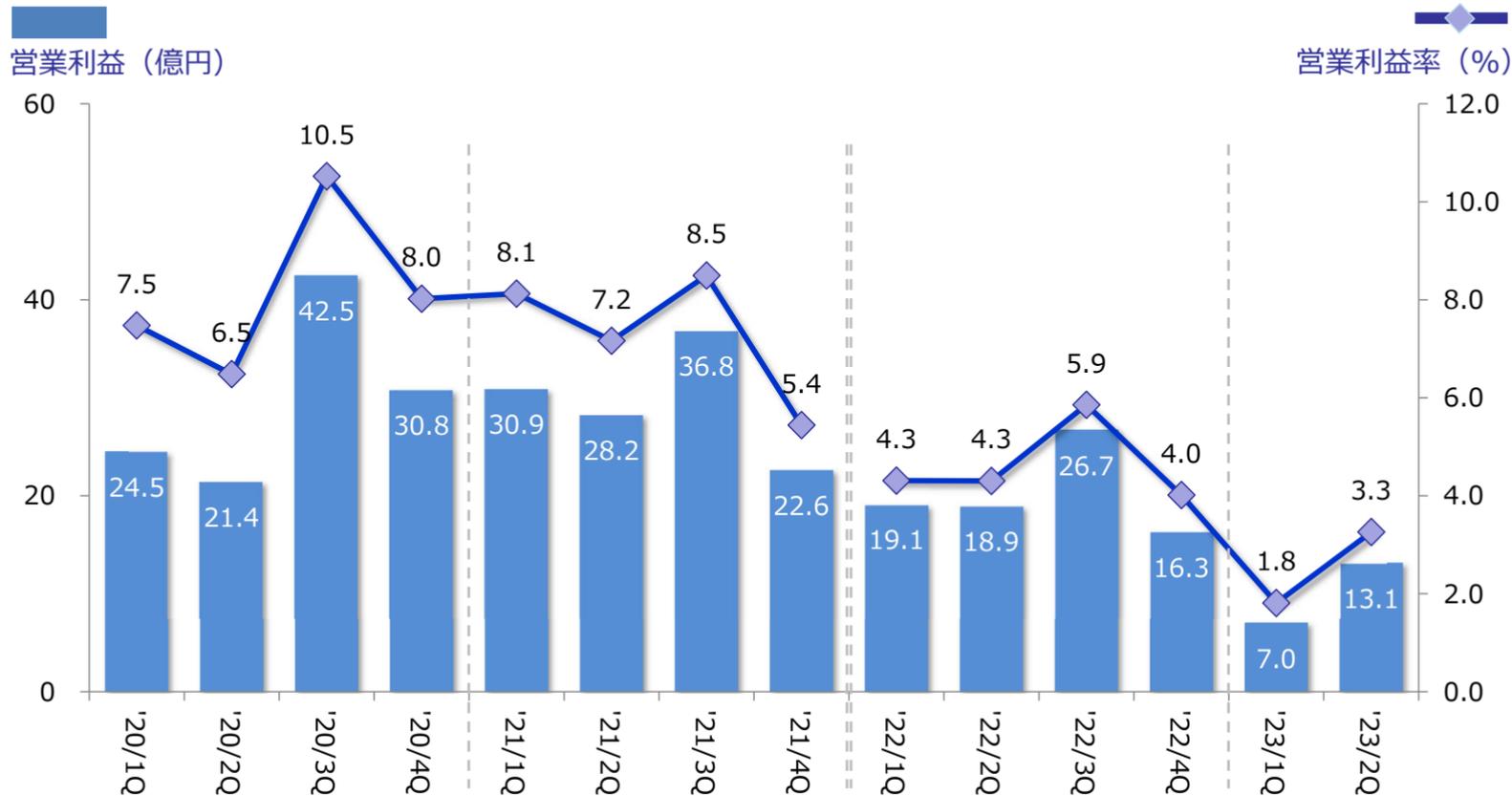


連結営業利益（同率）の推移



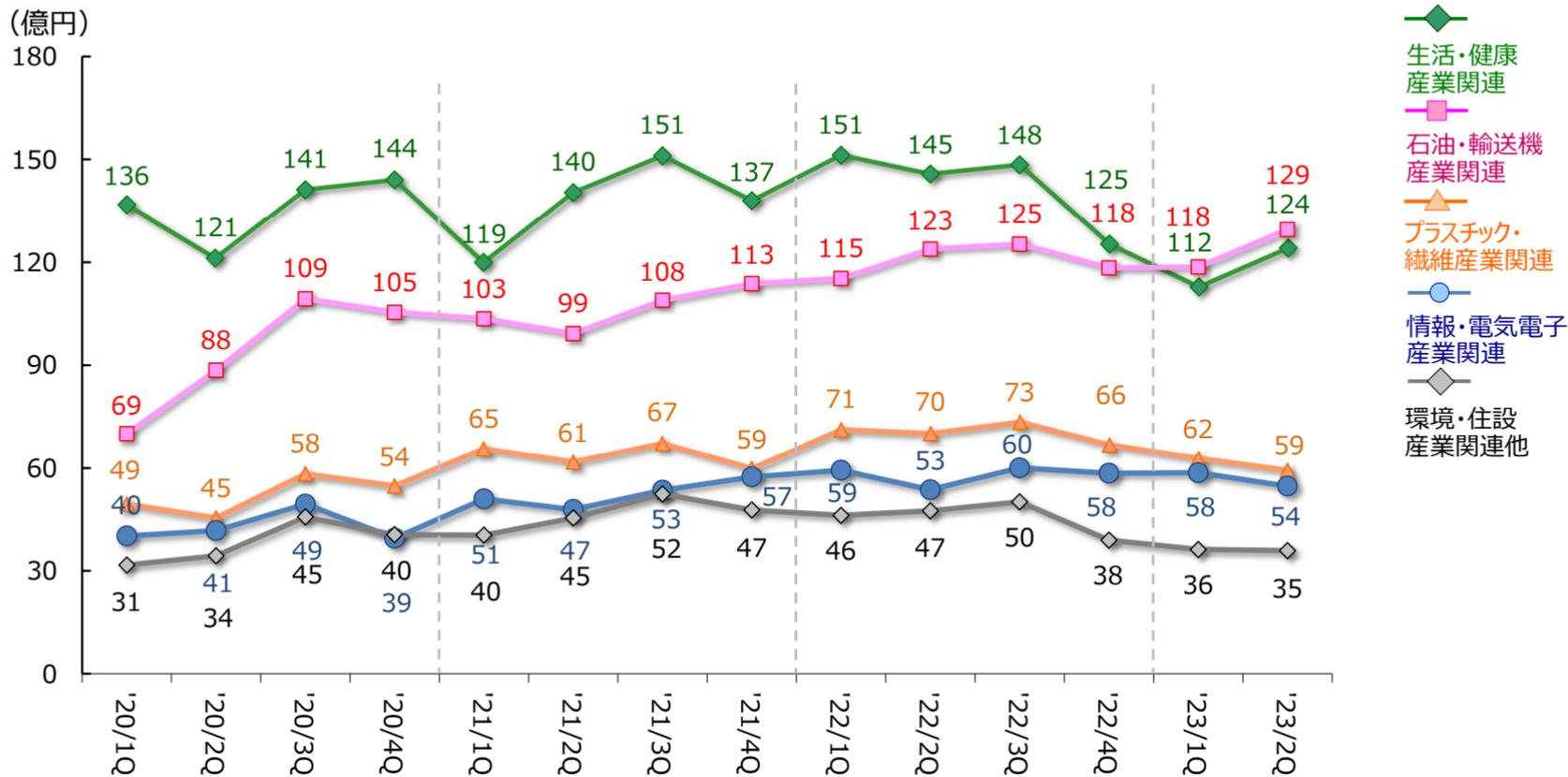
* 一部勘定科目の取り扱いの変更を受け、'22年3月期以前は組み換え前、'23年3月期以降は組み換え後の数値を表示しております。

連結営業利益（同率）の推移（四半期）

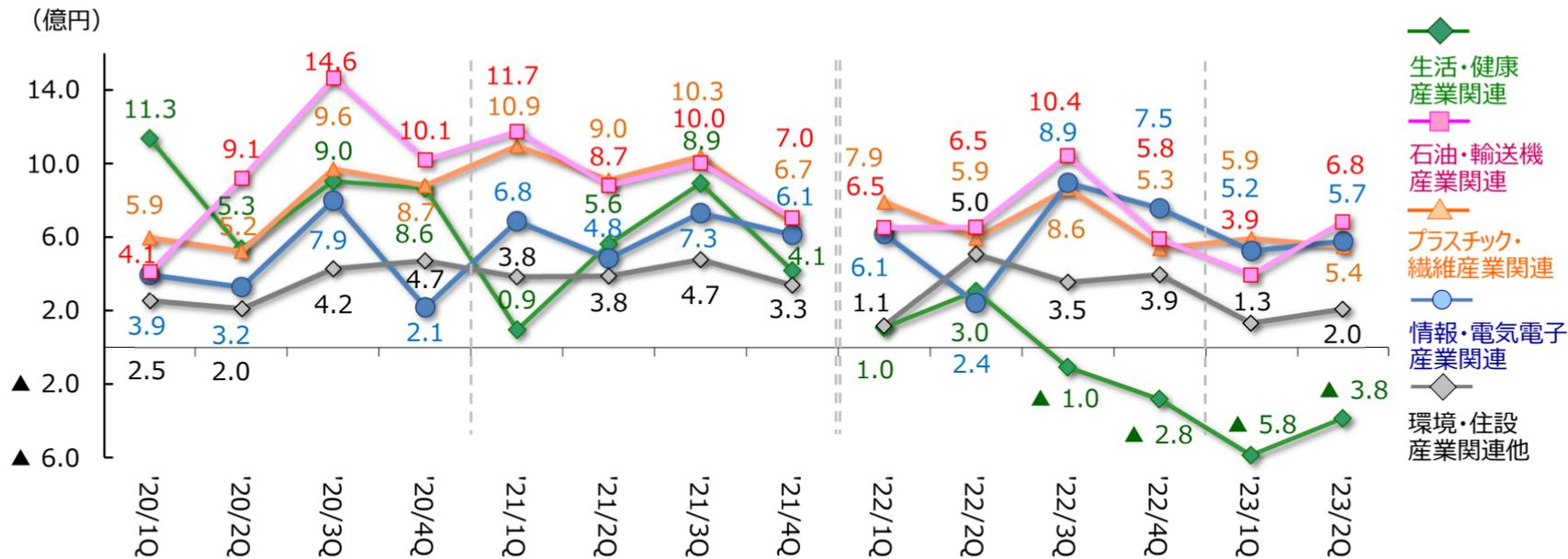


* 一部勘定科目の取り扱いの変更を受け、'21/4Q以前は組み換え前、'22/1Q以降は組み換え後の数値を表示しております。

連結産業分野別売上高の推移（四半期）



連結産業分野別営業利益の推移（四半期）



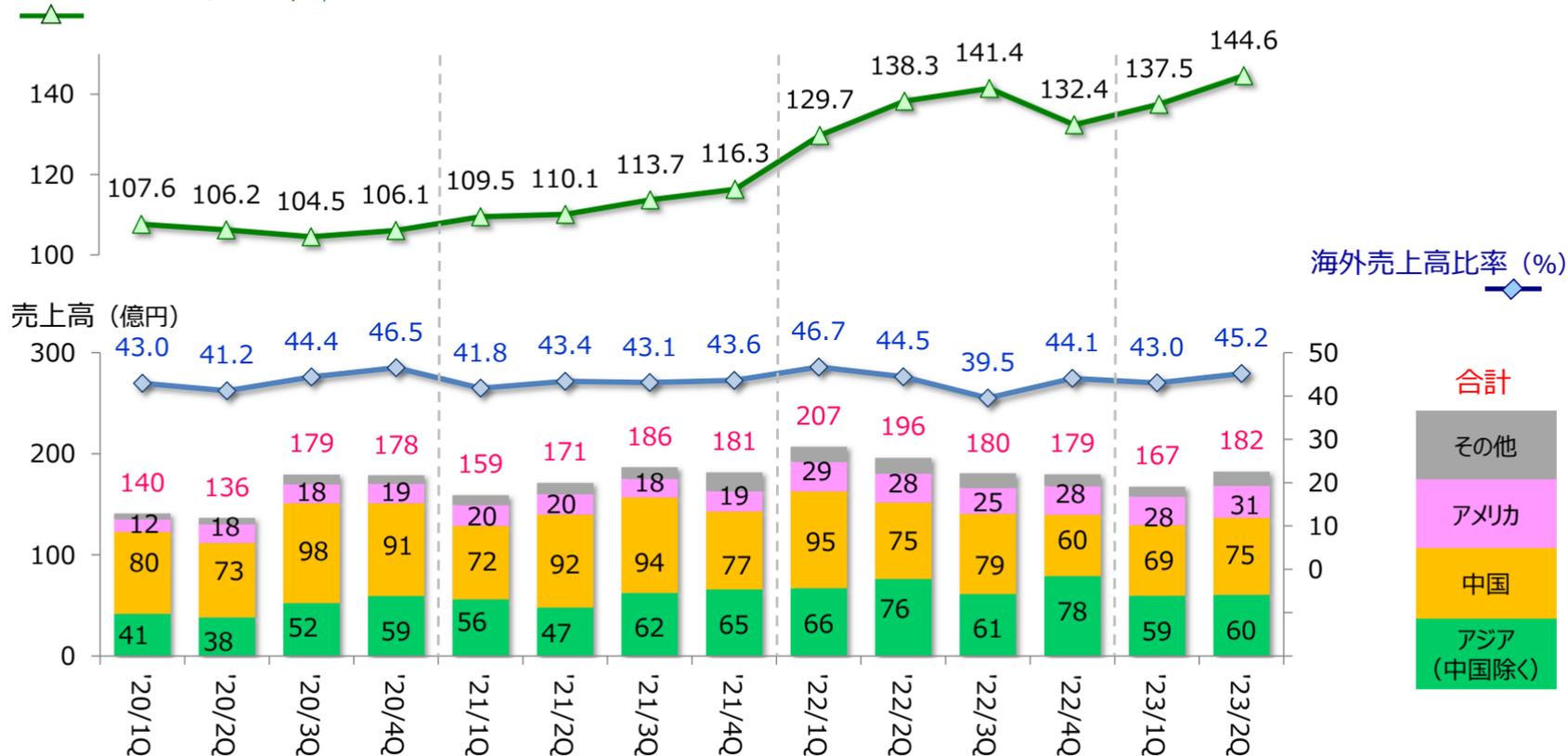
*一部勘定科目の取り扱いの変更を受け、'21/4Q以前は組み換え前、'22/1Q以降は組み換え後の数値を表示しております。

新規事業に係る研究開発費（億円）*

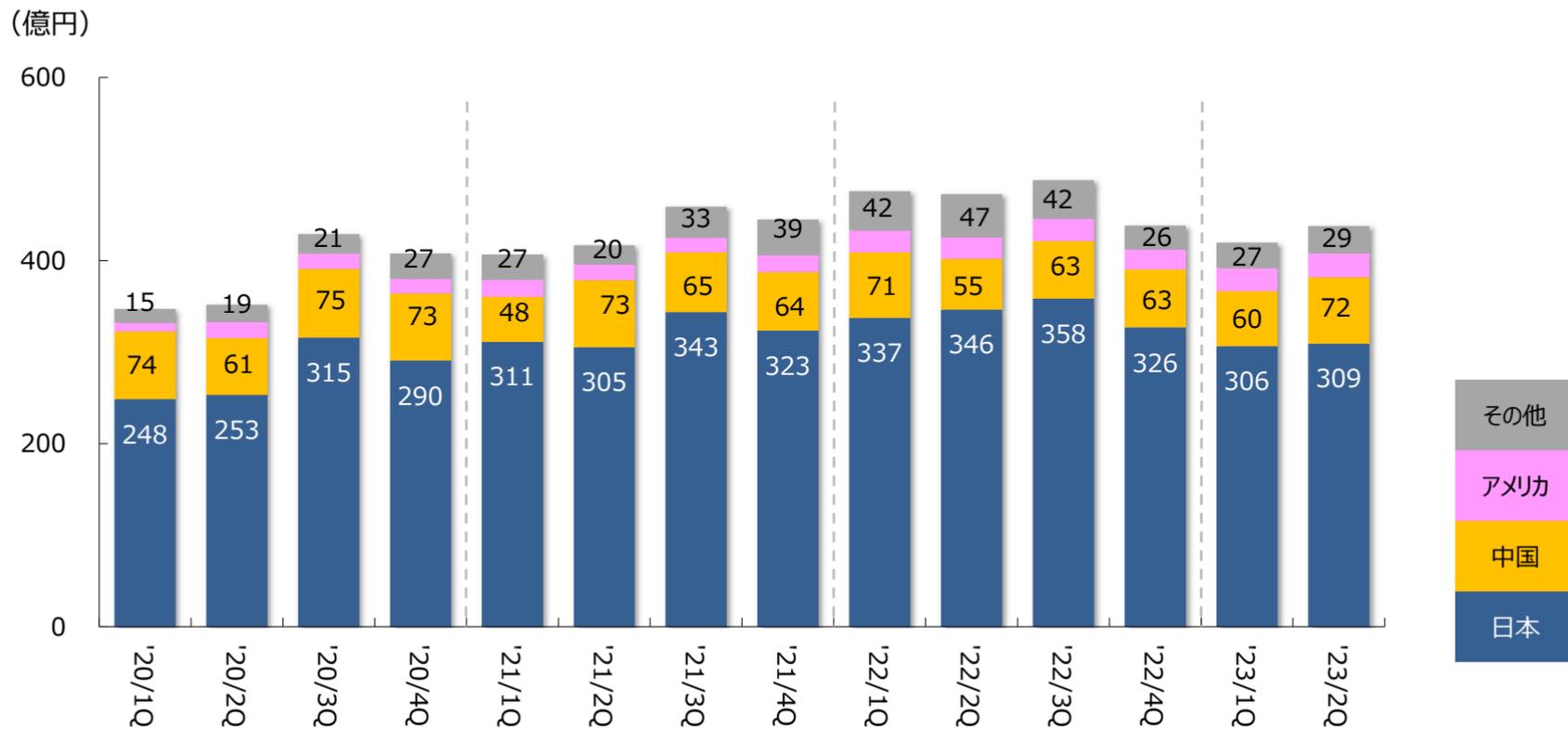
'21年3月期				'22年3月期				'23年3月期				'24年3月期	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
▲3.3	▲3.6	▲3.1	▲3.6	▲3.4	▲3.9	▲4.5	▲4.7	▲3.7	▲4.0	▲3.6	▲3.5	▲3.4	▲3.1

海外売上高の推移（四半期）

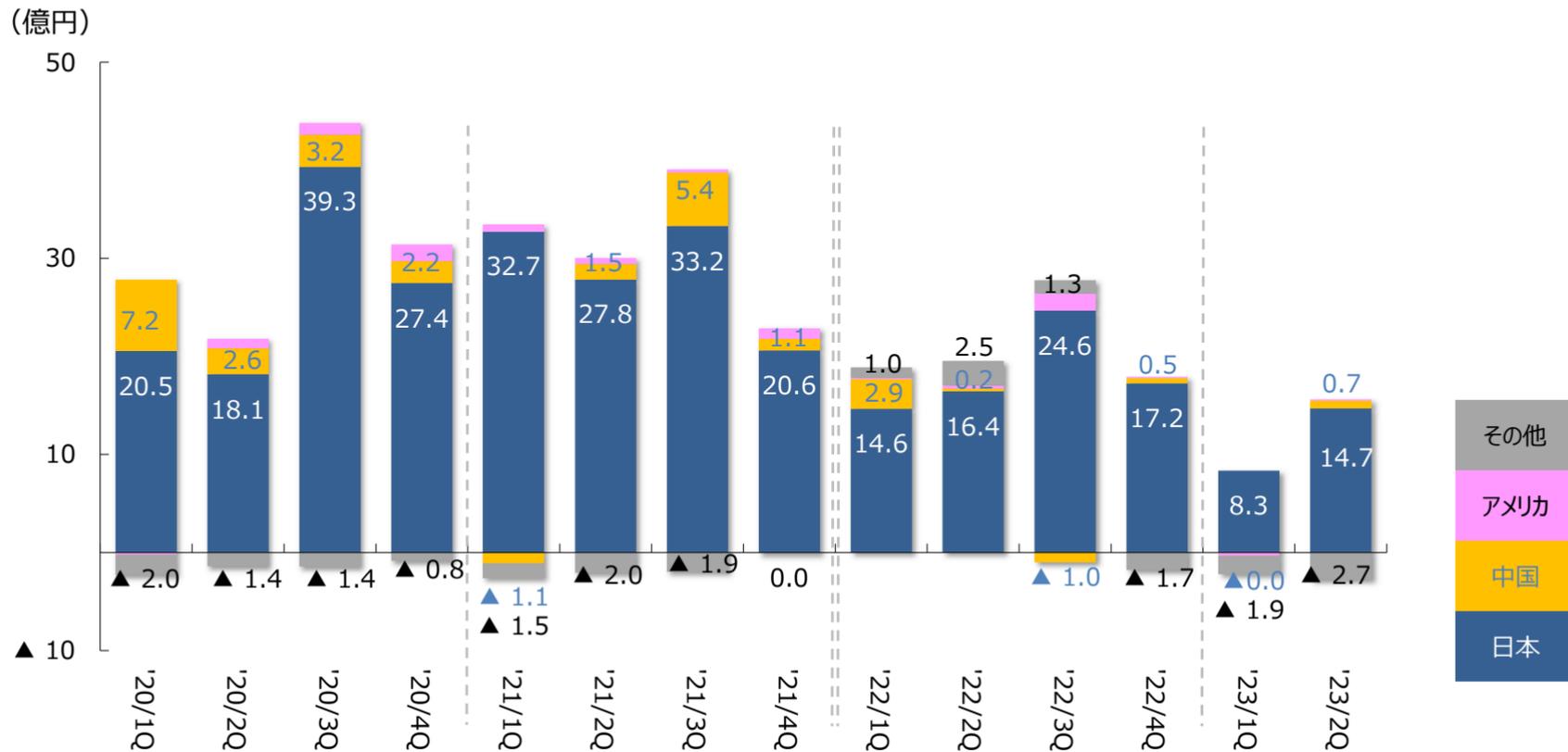
為替（期中平均）（円 / \$）



連結所在地別売上高の推移（単純合算）



連結所在地別営業利益の推移（単純合算）



* 一部勘定科目の取り扱いの変更を受け、'21/4Q以前は組み換え前、'22/1Q以降は組み換え後の数値を表示しております。

会社名	略号	議決権所有割合	事業内容
SDPグローバル(株)	SDP	三洋化成工業(株) 100%	高吸水性樹脂の製造販売
サンプロコ(株)	SNL	三洋化成工業(株) 100%	紙・パルプ薬剤、塗料用薬剤、各種工業用薬剤等の製造販売
サンケミカル(株)	SCC	三洋化成工業(株) 50% ENEOS(株) 50%	ポリウレタンフォーム用原料等の製造
サンアプロ(株)	SA	三洋化成工業(株) 50% エポック・インターナショナル ホールディング B.V. 50%	エポキシ樹脂硬化促進剤、ウレタン化反応触媒等の製造販売
三洋化成ロジスティクス(株)	三洋ロジ	三洋化成工業(株) 100%	運送業・倉庫業

会社名	所在国	略号	議決権所有割合	事業内容
三洋化成精細化学品 (南通) 有限公司	中国	SKN	三洋化成工業(株) 100%	界面活性剤、 ウレタン樹脂等の製造
三大雅精細化学品 (南通) 有限公司	中国	SDN	SDPグローバル(株) 100%	高吸水性樹脂の製造販売
三洋化成(上海) 貿易有限公司	中国	SCST	三洋化成工業(株) 100%	界面活性剤、 ウレタン樹脂等の販売
Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.	タイ	SKT	三洋化成工業(株) 79% VIV, 豊田通商(株)ほか 21%	界面活性剤、ウレタン樹脂 等の製造販売
Sanyo Chemical America Incorporated	米国	SCA	三洋化成工業(株) 100%	米国子会社の統括会社、 潤滑油添加剤、ウレタン ビーズ等の販売
Sanyo Chemical Texas Industries, LLC	米国	SCTI	Sanyo Chemical America Incorporated 100%	ウレタンビーズの製造
SDP GLOBAL (MALAYSIA) SDN.BHD.	マレー シア	SDPM	SDPグローバル(株) 100%	高吸水性樹脂の製造販売
韓国三洋化成株式会社	韓国	SKK	三洋化成工業(株) 100%	潤滑油添加剤、 界面活性剤等の販売

会社名	略号	議決権所有割合		事業内容
(株)サン・ペトロケミカル	SPCC	三洋化成工業(株) ENEOS(株)	50% 50%	合成ゴム原料の製造
Sunrise Chemical LLC [米国]	SRC	Sanyo Chemical America Incorporated ニッポン・ケミカル・テキサ	50% 50%	合成ゴム原料の製造
塩浜ケミカル倉庫(株)	塩ケミ	三洋化成工業(株) ENEOS(株)	50% 50%	倉庫業